

Igniform

(イグニフォーム)

ご利用マニュアル

Mac 版

インストールとライセンス登録

マニュアル Version 1.0.1

2026 年 8 月

株式会社 FabriAI

目次

- 第 1 章 はじめに
- 第 2 章 ダウンロード
- 第 3 章 インストール
- 第 4 章 初回起動とライセンス登録
- 第 5 章 最初に触れてみる
- 第 6 章 困ったとき
- 第 7 章 ライセンスの更新と再発行
- 付録 A 動作環境詳細
- 付録 B 情シス向け
- 付録 C 用語集

改訂履歴

版数	発行日	マニュアルの変更点
1.0.0	2026 年 7 月	初版
1.0.1	2026 年 8 月	（1）動作環境の記載を公式サイト掲載の表に統一し、推奨／最低の 2 区分に再構成。CPU・GPU・ディスプレイの項目を追加（第 1 章 § 1.3、付録 A § A.2）。（2）付録 A § A.3 の年式によるグラフィックス表記を削除し、§ A.2 の GPU 欄に一本化。（3）第 2 章 § 2.1 の入手先を FabriAI 公式サイトのダウンロードページに確定し、ダウンロード手順とファイルサイズの案内を追加。（4）本文中のインストーラのファイル名の例を最新版に更新。（5）付録 B § B.3 に一括手配時の依頼方法の案内を追記。（6）付録 C 用語集のインストーラ名の例が Windows 版のものになっていた誤記を修正。

第 1 章 はじめに

この章では、Igniform がどんなソフトかと、このマニュアルの読み方、そして お使いのパソコンで動かすための条件についてご説明します。まず結論からお伝えすると、このマニュアルの通りに進めれば、ソフトの入手から ライセンスの登録、最初の治具づくりまでを、ご自身だけで終わられます。

1.1 Igniform でできること

Igniform（イグニフォーム）は、**3D プリンタで治具（じぐ）を作るためのソフト**です。画面の上で形やサイズを決めると、3D プリンタで印刷できるデータ（STL ファイル）を書き出せます。図面を引いた経験がなくても、用意された型（テンプレート）を選んで 数値を整えるだけで、治具の形を作れるように設計しています。

1.2 このマニュアルで分かること

このマニュアルは、次の流れにそって章を分けています。困ったときは、目次から必要な章だけを開いてお読みいただけます。

- ・ **第 1 章 はじめに**（この章）… Igniform の概要と動作条件
- ・ **第 2 章 ダウンロード**… ソフト（インストーラ）の入手と保存
- ・ **第 3 章 インストール**… パソコンへの導入
- ・ **第 4 章 初回起動とライセンス登録**… 最初の起動と、利用するための登録
- ・ **第 5 章 最初に触れてみる**… 試しに治具を 1 つ作る体験
- ・ **第 6 章 困ったとき**… よくある質問とサポート窓口
- ・ **第 7 章 ライセンスの更新と再発行**… 毎年の更新や、パソコン買い替え時の手続き
- ・ **付録**… 動作環境の詳細、社内導入の手引き、用語の解説

はじめてお使いになるときは、第 2 章から第 4 章までを順番にお読みいただくと、スムーズに利用を始められます。

1.3 お使いのパソコンの条件（要約）

Igniform は、次の条件を満たす Mac パソコンで動作します。 詳しい条件は **付録 A** にまとめています。

- ・ **基本ソフト**: macOS 11 Big Sur 以降（Intel／Apple Silicon 両対応）
- ・ **CPU**: 推奨 4 コア以上（Apple M1 以降 / Core i5 第 8 世代以降）
- ・ **メモリ**: 推奨 16GB（最低 8GB）
- ・ **ディスクの空き**: 2GB 以上
- ・ **画面の解像度**: 推奨 1920×1080（最低 1366×768）

- ・ **グラフィックス:** Apple Silicon 内蔵 GPU / Intel Iris Xe など、WebGL 2.0 に対応した GPU

ご自身のパソコンが条件を満たしているか分からないときは、付録 A の確認手順を ご覧ください。条件に少し届かない場合でも動くことがありますが、動作が重く 感じられたときは、付録 A の対処をお試ください。

1.4 はじめる前のご確認

Igniform を利用するには、**ライセンス**（このソフトを使うための許可証にあたる ファイル）が必要です。ライセンスは FabriAI（提供元）からお渡しします。

作業を始める前に、次の 2 つが手元にそろっているかご確認ください。

1. **インストーラ**（ソフト本体。入手方法は第 2 章でご案内します）
2. **ライセンス**（FabriAI から受け取ったファイル、またはライセンスキーの文字列）

ライセンスがまだ届いていないときは、先に第 2 章・第 3 章（入手とインストール）まで進めておき、ライセンスが届いてから第 4 章（登録）に進んでいただけます。ライセンスの受け取りについてご不明な点があるときは、第 6 章のサポート窓口へ ご連絡ください。

第 2 章 ダウンロード

この章では、Igniform のソフト本体（インストーラ）を入手して、Mac に保存するところまでをご説明します。やることは「決められた場所からファイルを 1 つ受け取り、分かりやすい場所に置いておく」だけです。インストール（Mac への導入）は次の第 3 章で行います。

2.1 インストーラの入手方法

ソフト本体は、下記のページからお受け取りいただきます。

1. 下記のページを開きます。

- **入手先:** FabriAI 公式サイト ダウンロードページ
<https://fabriai.co.jp/igniform/download>

1. ページの下部にある「**macOS 版をダウンロード**」ボタンを押して、ファイルを受け取ります（macOS 11 以降（Intel / Apple Silicon ユニバーサル）、約 391MB）。

受け取るファイルは次の 1 つです。

- ・ **ファイル名の例:** Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg

この .dmg ファイルが、Mac へ導入するための基本のファイルです。ダウンロードのページには、特別な環境のための予備として .zip 形式（Igniform-1.0.2-mac-universal.zip）も用意しています。通常は .dmg をお使いください。

Igniform は、Intel 搭載 Mac と Apple Silicon 搭載 Mac（M1/M2/M3/M4）のどちらでもお使いいただけます（1 つのファイルで両対応です）。

2.2 保存する場所

受け取ったファイルは、あとで見つけやすい場所に保存しておくで安心です。迷ったときは、次のどちらかをおすすめします。

- ・ **デスクトップ**（画面の背景部分）
- ・ **ダウンロード フォルダ**（多くのブラウザが既定で保存する場所）

2.3 受け取ったファイルが正しいかの見分け方

インストールの前に、受け取ったファイルが正しいものかを、次の 3 点でご確認ください。

1. **ファイル名を確認します。** これは、間違ったファイルを開かないためです。名前が Igniform- で始まり、末尾が .dmg であることを確かめます（例：Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg）。

2. **配布元を確認します。** これは、安全なファイルだけを使うためです。FabriAI から受け取った経路（メール・チャット・USB など）であることを確かめます。
3. **バージョン番号を確認します。** これは、最新版を使うためです。ファイル名の数字（例：1.0.2）が、FabriAI からのご案内と一致していることを確かめます。

うまく見分けられないときは: ファイル名が大きく違う、末尾が **.dmg** でない、出どころに心当たりがない、といった場合は、そのファイルは開かずに、第 6 章のサポート窓口へご連絡ください。正しいファイルをあらためてお送りします。

第 3 章 インストール

この章では、第 2 章で受け取った **.dmg** ファイルを使って、Igniform を Mac に導入する手順をご説明します。Mac では、ファイルを開いて、Igniform を「アプリケーション」フォルダへドラッグするだけで導入が完了します。数分で終わります。

3.1 ダウンロードしたファイルを開きます

何をする: 受け取った **.dmg** ファイルを開きます。 **何のため:** 導入に使う画面（ディスクイメージ）を表示するためです。

1. 第 2 章で保存したファイル（例：Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg）をさがします。
2. そのファイルを**ダブルクリック**します。
3. しばらくすると、Igniform のアイコンと「アプリケーション」フォルダが並んだ ウィンドウ（Finder）が開きます。

うまくいかないときは: ダブルクリックしても開かないときは、ファイルを 1 回 クリックして選んだ状態で、キーボードの **command** キーと **O**（オー）を同時に 押してみてください。それでも開かないときは、第 6 章「困ったとき」をご覧ください。

3.2 アプリケーションフォルダへドラッグします

何をする: Igniform を「アプリケーション」フォルダに入れます。 **何のため:** Mac にソフトを導入するためです。

1. 開いたウィンドウの中に、**Igniform** のアイコンと「**アプリケーション**」フォルダが表示されています。
2. **Igniform** のアイコンを、「**アプリケーション**」フォルダの上までマウスでドラッグし、指を離して置きます。
3. コピーが始まり、終わると Igniform が「アプリケーション」フォルダに入ります。

うまくいかないときは: 「同じ名前の項目がすでにあります」と表示されたときは、古い Igniform が入っています。新しいものに置き換える案内が出た場合は、置き換えを選んでください。判断に迷うときは、第 6 章のサポート窓口へご相談ください。

3.3 ディスクイメージを取り出して、起動します

何をする: 開いていたウィンドウ（ディスクイメージ）を片づけ、Igniform を 起動します。

何のため: 導入を仕上げ、最初の起動に進むためです。

1. デスクトップ、または Finder の左側に表示されている **Igniform** の ディスクイメージを取り出します。アイコンを右クリックして「**取り出す**」を選ぶか、アイコンの横の取り出しボタンを押します。
2. 画面下の Dock から **Launchpad** (ロケットのようなアイコン) を開くか、Finder の「**アプリケーション**」フォルダを開きます。
3. **Igniform** をダブルクリックして起動します。

このあと、はじめての起動では、次の 3.4 の確認画面が出ることがあります。出なかった場合は、そのまま第 4 章「初回起動とライセンス登録」へお進みください。

うまくいかないときは: Igniform が見つからないときは、Finder の「アプリケーション」フォルダをもう一度ご確認ください。3.2 のドラッグが終わっていない場合は、3.2 からやり直してください。

3.4 「開発元を確認できないため開けません」と出たとき (Gatekeeper)

何をする: macOS の確認画面が出た場合だけ、進める操作をします。 **何のため:** 新しいソフトを安全に始めるためです。

Igniform は正規の発行元として手続きを行っていますので、この画面は通常表示されません。ただし、配布が始まって間もない時期は、念のため次の画面が出ることがあります。

「**"Igniform"は、開発元を確認できないため開けません**」と表示された場合は、次のように進めます。

1. Finder の「アプリケーション」フォルダで **Igniform** を右クリック (または **control** キーを押しながらクリック) します。
2. 表示された一覧から「**開く**」を選びます。
3. 確認のダイアログで、もう一度「**開く**」を押します。一度開けば、次回からは通常のダブルクリックで起動できます。

macOS の新しいバージョン (Sequoia など) では、右クリックの代わりに、画面左上のアップルメニュー → 「**システム設定**」 → 「**プライバシーとセキュリティ**」を開き、下のほうにある「**このまま開く**」を押す形になることがあります。

うまくいかないときは: 「開く」や「このまま開く」が見当たらないときは、無理に進めず、受け取ったファイルが正しいものか (第 2 章 §2.3) をご確認ください。第 6 章のサポート窓口へご相談ください。

これで導入は完了です。続いて、**第 4 章「初回起動とライセンス登録」**にお進みください。

第 4 章 初回起動とライセンス登録

この章では、インストールした Igniform をはじめて起動し、ご利用のための **ライセンスの登録**を終えるまでをご説明します。このマニュアルでいちばん大切な章です。順番どおりに進めれば、登録を完了して 治具づくりを始められます。

はじめに、登録までの流れの全体像をお伝えします。

1. Igniform を起動すると、登録のための画面（ライセンスゲート）が表示されます。
2. 画面に出ている **PC ID**（このパソコンを表す文字列）をコピーし、FabriAI（提供元）のサポート窓口へお送りします。
3. FabriAI が、お送りいただいた PC ID 専用のライセンスファイルを発行し、お手元へお届けします。
4. 届いたライセンスファイルを画面に置く（ドラッグ&ドロップする）と、登録が完了します。



ライセンスは、**お使いのパソコンごとにお作りします**。そのため、ファイルを受け取る前に、まずこのパソコンの PC ID をお送りいただく順序になります。

4.1 初回起動の準備

何をする: Igniform を起動します。 **何のため:** 登録のための画面を表示するためです。

1. 第 3 章で導入した Igniform を起動します。次のどちらかの方法で起動できます。
 - Launchpad（ロケットのようなアイコン）を開き、**Igniform** を選びます。
 - または Finder の「**アプリケーション**」フォルダを開き、**Igniform** をダブルクリックします。

1. 起動すると、登録のための画面（ライセンスゲート）が**自動で**表示されます。はじめての起動では、この画面が出るのが正しい状態です。

うまくいかないときは: アイコンが見当たらないときは、4.1 の 2 つ目の方法（アプリケーションフォルダから Igniform を選ぶ方法）でお試してください。起動しても画面が真っ白のままのときは、いったん閉じて、もう一度起動してください。それでも変わらないときは、第 6 章「困ったとき」をご覧ください。

4.2 PC ID の確認とサポートへの送信

何をする: 画面の PC ID をコピーして、サポート窓口へお送りします。 **何のため:** このパソコン専用のライセンスを発行してもらうためです。

ライセンスゲートの画面には、**PC ID:** という見出しと、このパソコンを表す 文字列が表示されています。この文字列を、FabriAI のサポート窓口へお送りください。

PC ID をコピーします

1. 画面の **PC ID:** の近くにある「**クリップボードにコピー**」を押します。
2. 「**コピーしました**」と表示されれば、コピーできています。

うまくいかないときは: コピーがうまくいかないときは、表示されている PC ID の 文字列を、まちがいのないように書き写してお送りいただいても問題ありません。

サポート窓口へお送りします

コピーした PC ID を、次の窓口へメールでお送りください。

- **送り先:** support@fabriai.co.jp
- **受付時間:** 平日 9:00～18:00（土日祝日を除く）

お送りいただくときは、次の情報を一緒にお書き添えください。これは、正しいライセンスを早くお届けするためです。

1. **PC ID**（4.2 でコピーした文字列）
2. **会社名**
3. **ご利用になる方のお名前**

メール文面の例

そのままお使いいただけるよう、文面の例をご用意しました。[] の部分を、ご自身の情報に置き換えてお送りください。

件名: Igniform ライセンス発行のお願い（[会社名]）

FabriAI ご担当者さま

Igniform のライセンス発行をお願いいたします。
下記の PC ID で発行をお願いします。

- PC ID: [画面からコピーした文字列を貼り付け]
- 会社名: [会社名]
- ご利用者名: [お名前]

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

[お名前 / ご連絡先]

うまくいかないときは: どの窓口へ送ればよいかわからないときや、返信がないときは、第 6 章「困ったとき」のサポート連絡先をご確認ください。

4.3 ライセンスファイルの受け取り待ち

何をする: ライセンスファイルが届くのを待ちます。 **何のため:** このパソコン用のライセンスが発行されるのを待つためです。

4.2 でお送りいただいたあと、FabriAI が PC ID 専用のライセンスファイルを発行し、メールなどでお届けします。

- お届けまでの目安: 1~2 営業日
- **待っている間は、Igniform を閉じていただいても問題ありません。** ライセンスファイルが届いてから、あらためて起動して 4.4 にお進みください。もう一度起動しても、同じ登録画面が表示されます。

うまくいかないときは: 目安の時間を過ぎてもファイルが届かないときは、お送りいただいたメールが届いているかをご確認のうえ、第 6 章のサポート窓口へご連絡ください。

4.4 ライセンスの登録

何をする: 受け取ったライセンスファイルを画面に登録します。 **何のため:** Igniform を使える状態にするためです。

ライセンスファイルが届いたら、Igniform を起動し、登録画面で次のように進めます。登録のしかたは、**主に使う方法**と、**うまくいかないときの別の方法**の 2 通りがあります。まずは主な方法（ドラッグ&ドロップ）をお試しください。

主な方法: ドラッグ&ドロップで登録します

1. 受け取ったライセンスファイルの場所を開きます（メールに添付されていた場合は、いったんデスクトップなどに保存しておくとう分かりやすくなります）。
2. そのファイルを、画面の「**ライセンスファイルをここにドロップ**」と書かれた領域までマウスでドラッグし、指を離して置きます。

ファイルをうまくドラッグできないときは、ボタンから選ぶこともできます。

1. ドロップ領域にある「**ファイルを選択**」を押します。
2. 表示された一覧から、受け取ったライセンスファイルを選びます。

1. ファイルを置く（または選ぶ）と、自動で確認が始まり、「**登録する**」で登録が進みます。

うまくいかないときの方法: 文字を貼り付けて登録します

ファイルでうまくいかないときは、ライセンスの文字列を貼り付けて登録できます。

1. 画面の下の方にある「**または、ライセンスキーを貼り付ける**」を押して開きます。
2. 受け取ったライセンスキー（メールに記載された、英数字の長い文字列）を、入力欄に貼り付けます。
3. 「**登録する**」を押します。

うまくいかないときは: 文字列を貼り付けるときは、前後に余分な空白や改行が入っても自動で取り除かれますので、そのまま貼り付けていただいて問題ありません。それでも登録できないときは、4.6 のエラー時の対処をご覧ください。

4.5 登録完了の確認

何をする: 登録が終わったことを確かめます。 **何のため:** 治具づくりを始められる状態かを確認するためです。

1. 登録が成功すると、「**確認できました。まもなく起動します…**」と表示されます。
2. その後、登録画面が閉じ、Igniform のメイン画面（治具をつくる画面）へ自動で切り替わります。

メイン画面が表示されれば、登録は完了です。続いて、**第 5 章「最初に触れてみる**」で、試しに治具を 1 つ作ってみましょう。

うまくいかないときは: 「確認できました」と出たのにメイン画面に進まないときは、いったん Igniform を閉じて、もう一度起動してください。次回からは登録画面は表示されず、メイン画面が開きます。それでも登録画面が出続けるときは、第 6 章のサポート窓口へご連絡ください。

4.6 エラーが表示されたときの対処

何をする: 登録のときに出るおもなお知らせへの対処を確認します。 **何のため:** つまづいたときに、次の一手が分かるようにするためです。

登録の画面では、状況に応じて次のようなお知らせが表示されることがあります。ここではおもなものだけご案内します。くわしい対処は第 6 章「困ったとき」をご覧ください。

「このライセンスはこの PC 用ではありません」と表示された

受け取ったライセンスが、別のパソコン用に発行されている場合に表示されます。

1. 4.2 でお送りした PC ID と、いま画面に出ている PC ID が同じかをご確認ください。
2. ちがう場合は、いま画面に出ている PC ID を、あらためて担当者にお伝えください。このパソコン用のライセンスを発行してもらえます。
3. 新しいライセンスを受け取ったら、4.4 の手順で登録し直します。

「ライセンスデータが破損しています」と表示された

このパソコンに保存されたライセンスの設定が、なんらかの理由で読み取れなくなっている場合に表示されます。

1. 担当者に連絡し、ライセンスの再送をご依頼ください。
2. 受け取ったライセンスを、4.4 の手順で登録し直します。

「ライセンスが正しくありません」と表示された

登録しようとしたライセンスの形式が正しくない場合に表示されます。

1. 受け取ったファイル（または文字列）が、FabriAI から届いた正しいものかをご確認ください。
2. 正しいライセンスを、4.4 の手順で登録し直します。それでも変わらないときは、担当者に再送をご依頼ください。

「ライセンスの有効期限が切れています」と表示された

ご利用中のライセンスが、期限を過ぎている場合に表示されます。更新の手続きについては、**第 7 章「ライセンスの更新と再発行」**をご覧ください。

それでも解決しないときは: ここで解決しないお知らせが出たときは、画面に出ている文言を控えて（できれば写真に撮って）、第 6 章「困ったとき」のサポート窓口へご連絡ください。

第 5 章 最初に触れてみる（骨子）

この章は「骨子」です。章の構成と、各セクションで説明する内容だけを先に用意しています。本文の手順は、UI と食い違わせないために、V1.0.0 直前の安定版で実機を操作しながら、テキスト中心で埋めます（スクリーンショットは使いません）。推奨テンプレート：シャドウボード（最もシンプル。id: shadowBoard / 「工具の輪郭をくり抜いたトレイ型の置き治具」）。

章の導入（書き出し）

- この章で何ができるようになるか（試しに治具を 1 つ、最後まで作って書き出す）を先に示す
- インストール・登録マニュアルとしては範囲外だが、「最初の成功体験」のために用意した旨を一言
- 所要時間の目安と、用意するもの（押さえない工具の写真 または 立体データ）を提示

5.1 テンプレートを選びます

説明する内容（実機で確定）：

- 起動画面（オンボーディング）の見方 — 「テンプレートから」の一覧
- 一覧から「シャドウボード」を選ぶ操作
- なぜ最初はシャドウボードがおすすめか（工具を置く形を作る、いちばん入りやすい型）

5.2 ワーク（もともになる形）を読み込みます

説明する内容（実機で確定）：

- 「ワーク」とは何か（治具で押さえない部品・工具の形）を一言で言い換え
- 読み込み方の案内（立体データ = STL を読み込む／写真から作る、のうち本章で使う 1 通りに絞る）
- 読み込んだ形が画面に表示されることの確認

失敗時の対処（骨子）：

- ・ 読み込んでも何も出ないとき／対応していないファイルのとき、の確認手順を後で記載

5.3 パラメータ（数値）を調整します

説明する内容（実機で確定）：

- ・ 調整パネルの見方（どこに数値の入力欄があるか）
- ・ 最初に触るべき代表的な数値を 1～2 個だけ紹介（深さ・ふちの幅 など。多くは既定のままでよいと案内）
- ・ 数値を変えると画面の形がどう変わるか（その場で反映されること）

方針メモ：

- ・ 「1 ステップ 1 アクション」を保つため、紹介する数値は最小限にしぼる
- ・ 「既定のままで問題ありません」を基本線にし、迷わせない

5.4 成型します（形を作る）

説明する内容（実機で確定）：

- ・ 「成型」ボタン（形を確定して作る操作）の位置と押し方
- ・ 計算に少し時間がかかることがある旨（重い計算をしているため）を先に伝える
- ・ 出来上がった治具の形が画面に表示されることの確認

失敗時の対処（骨子）：

- ・ 時間がかかる・うまく形にならないときの確認手順（データが大きすぎないか等）を後で記載。付録 A § A.5 / 第 6 章へ誘導

5.5 STL（3D プリンタ用データ）を書き出します

説明する内容（実機で確定）：

- ・ 「STL 書き出し」操作の位置と手順
- ・ 保存先・ファイル名の決め方（分かりやすい場所を案内）
- ・ 書き出したファイルを 3D プリンタのソフトに渡せば印刷できる、という締め

失敗時の対処（骨子）：

- ・ 保存できないときの確認手順を後で記載

まとめ（章の締め）

- ここまでで「選ぶ → 読み込む → 整える → 作る → 書き出す」の一通りを体験できたことを振り返る
 - もっと知りたいときの誘導（他のテンプレート、困ったときは第 6 章）
-

第 6 章 困ったとき

この章では、Igniform をお使いになるなかで起こりやすい困りごとと、その対処を ご説明します。困ったときは、目次から近い項目をさがして、その対処からお試し ください。多くの場合、ここに書かれた手順で解決します。解決しないときの**サポート窓口**は、この章の最後にまとめています。

6.1 アプリが起動しない

何をする: 起動しないときの基本の対処を順に試します。 **何のため:** 一時的な不具合を取り除くためです。

1. **パソコンを再起動してから、もう一度開きます。** これは、たまった負荷を リセットするためです。多くの場合、これで起動するようになります。
2. それでも起動しないときは、**Igniform をいったん終了してから開き直します。** これは、一時的な不具合を取り除くためです。
 - メニューバーの「Igniform」→「Igniform を終了」を選びます。
 - もう一度、アプリケーションフォルダから Igniform を開きます。

それでも解決しないときは: 6.7 のサポート窓口へご連絡ください。その際、「起動しない」ことと、画面に何か文言が出ていればその内容をお知らせください。

6.2 ライセンスの登録ができない

何をする: 登録がうまくいかないときの確認をします。 **何のため:** ファイルや手順のちがいをを見つけるためです。

登録の手順そのものは、第 4 章「初回起動とライセンス登録」でご説明しています。うまくいかないときは、次をご確認ください。

1. **受け取ったファイルが、FabriAI から届いた正しいライセンスかをご確認ください。** 別のファイルや、古いライセンスではないかを確認めます。
2. **ファイルでうまくいかないときは、文字を貼り付ける方法をお試しください。** 画面の「または、ライセンスキーを貼り付ける」を開き、受け取ったライセンスキー（メールに記載された、英数字の長い文字列）を貼り付けて「登録する」を押します。
3. **画面にお知らせ（エラー）が出ているときは、6.3 をご覧ください。** お知らせの内容ごとに対処が分かります。

それでも解決しないときは: 6.7 のサポート窓口へご連絡ください。

6.3 登録のときのお知らせ（エラー）が出た

何をする: 画面のお知らせごとの対処を確認します。 **何のため:** 状況に合った次の一手を選ぶためです。

おもなお知らせと対処は、第 4 章 § 4.6 にまとめています。ここでは要点だけをご案内します。くわしくは § 4.6 をご覧ください。

- ・ 「**このライセンスはこの PC 用ではありません**」 … 画面に出ている PC ID を担当者にお伝えし、このパソコン用のライセンスを 発行してもらってください (§ 4.6)。
- ・ 「**ライセンスデータが破損しています**」 … 担当者にライセンスの再送をご依頼のうえ、登録し直してください (§ 4.6)。
- ・ 「**ライセンスが正しくありません**」 … 受け取ったライセンスが正しいものかをご確認のうえ、登録し直してください (§ 4.6)。
- ・ 「**ライセンスの有効期限が切れています**」 … 更新の手続きが必要です。第 7 章「**ライセンスの更新と再発行**」をご覧ください。

それでも解決しないときは: 画面のお知らせの文言を控えて（できれば写真に 撮って）、6.7 のサポート窓口へご連絡ください。

6.4 PC ID が見つからない

何をする: PC ID の表示場所を確認します。 **何のため:** ライセンスの発行や更新の連絡に PC ID が必要なためです。

PC ID（このパソコンを表す文字列）は、次の場面で画面に表示されます。

- ・ **はじめての起動のとき:** 登録のための画面（ライセンスゲート）に「**PC ID:**」という見出しで表示されます。「**クリップボードにコピー**」でコピーできます（第 4 章 § 4.2）。
- ・ **有効期限が近づいたとき:** 画面に出る更新のお知らせ（リマインド）の中に、PC ID とコピーボタンが一緒に表示されます（第 7 章）。

それでも見つからないときは: 上記の画面が出ていないときは、6.7 のサポート窓口へ ご連絡ください。状況をうかがって、PC ID の確認方法をご案内します。

6.5 「開発元を確認できないため開けません」と出た（Gatekeeper）

何をする: macOS の確認画面が出たときに進める操作をします。 **何のため:** ソフトを安全に始めるためです。

この画面が出たときの進め方は、第 3 章 § 3.4 でご説明しています。要点は次のとおりです。

1. Finder で **Igniform** を右クリック（または control キーを押しながらクリック）します。
2. 表示された一覧から「**開く**」を選びます。
3. 確認のダイアログで、もう一度「**開く**」を押します。

macOS の新しいバージョン（Sequoia など）では、右クリックの代わりに、画面左上のアップルメニュー → 「**システム設定**」 → 「**プライバシーとセキュリティ**」を開き、下のほうにある「**このまま開く**」を押す形になることがあります。

それでも進めないときは: 上記の項目が見当たらないときは、無理に進めず、受け取ったファイルが正しいものか（第 2 章 § 2.3）をご確認のうえ、6.7 のサポート窓口へご相談ください。

6.6 アプリの動きが重い・とちゅうで閉じてしまう

何をする: 負荷を減らす対処を順に試します。 **何のため:** 動作を軽くし、安定させるためです。

1. **使っていない他のソフトを閉じます。** これは、メモリに余裕をつくるためです。
2. **読み込む立体データ（STL）の大きさを見直します。** これは、計算の負担を減らすためです。非常に細かい・大きいデータは、動作が重くなることがあります。
3. **パソコンを再起動してから、もう一度開きます。** これは、たまった負荷をリセットするためです。

くわしくは付録 A 「動作環境詳細」 § A.5 もご覧ください。

それでも解決しないときは: お使いのパソコンが動作環境（付録 A）を満たしているかをご確認のうえ、6.7 のサポート窓口へご連絡ください。

6.7 サポート窓口

ここまでの手順で解決しないときは、FabriAI のサポート窓口へご連絡ください。

- **メール:** support@fabriai.co.jp

- ・ **受付時間:** 平日 9:00～18:00（土日祝日を除く）

スムーズにご案内できるよう、ご連絡の際は次の情報をお書き添えください。

1. **PC ID**（第 4 章 § 4.2、またはこの章 § 6.4 の方法で確認できます）
2. **画面に出ているお知らせの文言**（できれば画面の写真を添付してください）
3. **会社名・ご利用になる方のお名前**

これらをお知らせいただくと、状況の確認が早く進み、解決までの時間を短くできます。

第 7 章 ライセンスの更新と再発行

この章では、ライセンスの**年ごとの更新**と、**パソコンを買い替えた・故障した ときの再発行**について、手続きの流れをご説明します。結論からお伝えすると、更新も再発行も、第 4 章でご説明した登録と同じ操作で完了します。新しいライセンスを受け取って、画面に登録するだけです。

更新も再発行も、流れは同じです。下の図のように、PC ID をお送りし、新しいライセンスを受け取って登録する、という 3 つのステップで完了します。



はじめに、大切な前提をお伝えします。Igniform のライセンスは、**1 つのライセンスにつき 1 台のパソコン**でお使いいただきます。ライセンスは登録したパソコン専用になり、ファイルをコピーしてもほかのパソコンではお使いいただけません（くわしくは 7.3）。

7.1 年ごとの更新

何をする: 期限が来る前に、更新のライセンスを受け取って登録します。 **何のため:** 期限が切れても続けてお使いいただくためです。

更新のお知らせ（リマインド）について

ライセンスの有効期限が近づくと、画面に更新のお知らせが表示されます。お知らせは、期限までの残り日数に応じて、**30 日前・14 日前・7 日前**を目安に 段階的に表示されます。お知らせの中には、このパソコンの **PC ID** とコピーボタンも 一緒に表示されます。

更新の手順

1. お知らせが出たら、その中の「**クリップボードにコピー**」で PC ID をコピーします。
2. コピーした PC ID を、サポート窓口（support@fabriai.co.jp）へお送りし、更新のライセンスを依頼します。会社名とご利用者名もお書き添えください。
3. 更新のライセンスファイルが届いたら、Igniform を起動します。
4. 受け取ったライセンスを、第 4 章 § 4.4 と同じ手順で登録します（画面にドラッグ & ドロップ、または貼り付け）。
5. 登録が完了すると、新しい期限でそのままお使いいただけます。

うまくいかないときは: 期限が過ぎてしまい「ライセンスの有効期限が切れています」と表

示された場合も、手順は同じです。更新のライセンスを受け取り、画面に登録すると 再びお使いいただけます。お知らせが見当たらないときは、第 6 章 § 6.4（PC ID の確認）と § 6.7（サポート窓口）をご覧ください。

7.2 パソコンの故障・買い替えのとき（再発行）

何をする: 新しいパソコンの PC ID で、ライセンスを発行し直してもらいます。 **何のため:** 別のパソコンでも続けてお使いいただくためです。

ライセンスは登録したパソコン専用のため、パソコンを替えたときは、新しいパソコンの PC ID であらためてライセンスを発行してもらう必要があります。

1. 新しいパソコンに Igniform を導入します（第 2 章・第 3 章）。
2. Igniform を起動すると、登録のための画面（ライセンスゲート）が表示されます。
3. 画面の「**クリップボードにコピー**」で、新しいパソコンの **PC ID** をコピーします。
4. コピーした PC ID を、サポート窓口（support@fabriai.co.jp）へお送りし、パソコンの買い替え（または故障）による**再発行**を依頼します。会社名とご利用者名もお書き添えください。
5. 再発行のライセンスファイルが届いたら、第 4 章 § 4.4 と同じ手順で登録します。

うまくいかないときは: 古いパソコンが手元になくても、再発行のお手続きは進められます。ご不明な点があるときは、第 6 章 § 6.7 のサポート窓口へご連絡ください。

7.3 「1 ライセンス 1 台」について

何をする: ライセンスの台数の決まりを確認します。 **何のため:** 複数のパソコンでお使いになるときに、必要な手配が分かるようにするためです。

Igniform のライセンスは、**1 つのライセンスにつき、1 台のパソコン**でお使いいただきます。

- ライセンスは、登録したパソコン専用になります。
- そのため、ライセンスのファイルをコピーしても、**ほかのパソコンではお使いいただけません**。別のパソコンでお使いになるときは、そのパソコン用のライセンスが必要です。
- 複数のパソコンでお使いになりたいときは、台数の分だけライセンスをご用意ください。ご相談は、サポート窓口（support@fabriai.co.jp）で承ります。

社内の複数台にまとめて導入される場合の進め方は、付録 B「情シス向け」でもご案内します。

付録 A 動作環境詳細

この付録では、Igniform を快適にお使いいただくための、Mac の条件をくわしく まとめています。第 1 章の要約では足りないとき、または導入前にご自身の Mac が 条件を満たすかを確認めたいときにご覧ください。

A.1 基本ソフト（macOS）

- macOS 11 Big Sur 以降

Igniform は、**Intel 搭載 Mac** と **Apple Silicon 搭載 Mac（M1／M2／M3／M4）** のどちらにも対応しています。1 つのインストーラで、どちらの Mac でもお使いいただけます。

お使いの macOS のバージョンは、画面左上のアップルメニュー → 「**この Mac について**」で確認できます。

A.2 推奨スペック・最低要件

快適にお使いいただくための目安です。「最低」を下回る環境では動作しないことがあります。「最低」を満たしていても動きが重く感じられたときは、A.5 の対処をご覧ください。

項目	推奨	最低
OS（macOS）	11 Big Sur 以降（Intel + Apple Silicon、ユニバーサルバイナリ同梱）	11 Big Sur
CPU	4 コア以上（Apple M1 以降 / Core i5 第 8 世代以降）	2 コア（arm64 / x86_64）
メモリ（RAM）	16GB	8GB
GPU（グラフィックス）	Apple Silicon 内蔵 GPU / Intel Iris Xe	WebGL 2.0 対応の統合 GPU
ストレージ（空き）	2GB 以上	インストール容量 + 作業領域
ディスプレイ	1920 × 1080（FHD）以上	1366 × 768
ネットワーク	不要（完全オフラインで動作。ライセンス認証も Mac 内で完結）	不要

A.3 3D グラフィックスについて

Igniform は、画面の中で立体を表示・操作するために、Mac のグラフィックス機能を使います。Apple Silicon 内蔵 GPU、または WebGL 2.0 に対応した GPU を搭載していれば、追加の機材なしでお使いいただけます（くわしくは A.2 の表をご覧ください）。立体の表示が乱れる、または極端に遅いと感じたときは、A.5 の対処と、第 6 章「困ったとき」をご覧ください。

A.4 インターネット接続について（オフライン動作）

Igniform は、インターネットにつながっていない状態でもお使いいただけます。

- ・ **ライセンスの確認**は、お使いの Mac の中だけで行います。確認のために インターネットへつながる必要はありません。
- ・ **治具づくりなどの通常の操作**も、インターネット接続なしで行えます。

ライセンスの**受け取り**や**更新**のときには、FabriAI からファイルをお送りする やり取り（メールなど）が必要になります。そのときだけは、メールを受け取れる環境を ご用意ください。

A.5 動作が重いと感じたときの対処

次の順でお試してください。多くの場合、これで改善します。

1. **使っていない他のソフトを閉じます。** これは、メモリに余裕をつくるためです。
2. **読み込む立体データ（STL）の大きさを見直します。** これは、計算の負担を 減らすためです。非常に細かい・大きいデータは、動作が重くなることがあります。
3. **Mac を再起動してから、もう一度開きます。** これは、たまった負荷を リセットするためです。

それでも改善しないときは、第 6 章「困ったとき」の手順と、サポート窓口を ご利用ください。

A.6 1 台ごとのライセンスについて

Igniform は、**1 つのライセンスにつき 1 台の Mac** でお使いいただく仕組みです。ライセンスは、登録した Mac 専用になります。複数の Mac でお使いになりたいときは、台数分のライセンスが必要です。くわしくは第 7 章、社内での導入は付録 B をご覧ください。

付録 B 情シス向け

この付録は、社内の複数台に Igniform を導入・運用される情報システム担当者・管理者の方に向けた、技術的な手引きです。本編（第 1～7 章）が現場のご利用者向けであるのに対し、こちらは配布・展開・アンインストール・トラブル切り分けといった管理作業を対象とします。

前提（重要）：Igniform のライセンスは **1 台の Mac につき 1 つ**で、各 Mac 固有の **PC ID** に紐づけて発行します（Node-locked 方式）。**アプリの配布・導入は自動化できますが、ライセンスの登録は各 Mac ごとに必要**です。詳しくは B.3 をご覧ください。

B.1 社内ネットワークでの配布

インストーラ（Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg）は、Intel／Apple Silicon のどちらの Mac でも動作する単一のディスクイメージです。次のような方法で配布できます。

- **共有フォルダに配置：**ファイルサーバーの共有フォルダに .dmg を置き、各利用者が自分の Mac にコピーして開きます。
- **MDM（モバイルデバイス管理）での配布：**Jamf などの MDM をお使いの場合は、Igniform.app をパッケージ化して配布できます（B.2 も参照）。

導入は、ディスクイメージを開いて Igniform.app を「アプリケーション」フォルダへコピーする操作です。アプリ本体は実行ユーザーから見える場所（/Applications）に置きます。

B.2 サイレント（無人）インストール

Mac では、ディスクイメージをマウントして Igniform.app を /Applications へコピーするスクリプトで、無人導入できます。例：

```
hdiutil attach "Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg" -nobrowse -quiet
cp -R "/Volumes/Igniform/Igniform.app" /Applications/
hdiutil detach "/Volumes/Igniform" -quiet
```

- コピー後、必要に応じて quarantine 属性を外す運用が考えられます（MDM 配布では通常 quarantine は付きません）。
- サイレント導入では、ライセンスの登録は行われません。ライセンス登録は各 Mac で個別に必要です（B.3）。

B.3 複数台への展開とライセンスの考え方

ここが社内展開で最も重要な点です。

- **アプリ本体:** B.1～B.2 のとおり、配布・コピーは一括・無人で自動化できます。
- **ライセンス:** ライセンスは各 Mac 固有の **PC ID** に紐づけて発行します。そのため、**台数の分だけライセンスの手配が必要**で、登録は各 Mac で個別に行います。

各 Mac でのライセンス登録の流れは、本編第 4 章と同じです。

1. 対象の Mac で Igniform を起動し、ライセンスゲート画面の **PC ID** を取得します。
2. 全台分の PC ID をまとめて、サポート窓口 (support@fabriai.co.jp) へお送りください。台数・会社名・各 Mac の利用者やホスト名など、台帳になる情報を添えると、後の管理が容易になります。
3. 各 PC ID に対して発行されたライセンスファイルを受け取り、対応する Mac で登録します (ドラッグ&ドロップ、または貼り付け)。

補足:

- **PC ID は Mac 単位**で決まります (macOS のユーザーアカウント単位ではありません)。1 台の Mac を複数のユーザーアカウントで共有している場合、PC ID は共通のため、同じライセンスファイルを各ユーザーで登録すればご利用いただけます。
- 現時点では、ライセンスの登録を無人で一括投入する仕組みはありません。登録は各 Mac での手動操作になります。

多数台を一括で手配される場合は、PC ID・ホスト名・ご利用者名をまとめた一覧 (Excel / CSV など書式は問いません) を添えてサポート窓口へお送りください。発行後の台帳管理が容易になります。

B.4 ネットワーク・プロキシ環境について

Igniform は、**通常利用・ライセンス検証ともに外部との通信を必要としません** (完全オフライン動作)。

- ライセンスの確認は、各 Mac の中だけで完結します。ライセンスサーバーへの問い合わせは行いません。
- アプリからの自動更新通信・利用状況の送信などを行いません。
- そのため、プロキシやファイアウォールでの通信許可 (許可リスト登録) は、アプリの動作のためには不要です。

唯一、人の手による連絡として、ライセンスの **発行・更新の依頼** (PC ID の送付とライセンスファイルの受領) にメールのやり取りが発生します。この際は、サポート窓口 (support@fabriai.co.jp) とメールが送受信できる環境をご用意ください。

B.5 ライセンス・設定データの保存場所

トラブル対応や、Mac の初期化後の再導入の際に役立つ情報です。Igniform のライセンス情報と設定は、実行ユーザーのライブラリ領域に保存されます。

- 保存場所 (Mac) : `~/Library/Application Support/Igniform`
- ライセンスのひも付け情報: `~/Library/Application Support/Igniform/igniform-bind.bin`
- ライセンス本体 (登録済みトークン) : `~/Library/Application Support/Igniform/igniform-license-token.txt`

これらのファイルは、登録済み Mac の内部情報です。別の Mac へコピーしてもそのままでは機能しません (ライセンスは PC ID にひも付くため)。

クリーンな状態で登録をやり直したい場合は、上記フォルダ内の Igniform 関連ファイルを削除してからアプリを起動すると、未登録の状態 (ライセンスゲート) に戻ります。

B.6 アンインストール手順

- Finder で「**アプリケーション**」フォルダを開きます。
- Igniform** を**ゴミ箱**へ移動します (右クリック → 「ゴミ箱に入れる」、または ゴミ箱へドラッグ)。
- ゴミ箱を空にします。

ライセンス・設定データ (B.5) まで完全に削除したい場合は、続けて `~/Library/Application Support/Igniform` フォルダを削除してください。

無人でアンインストールする場合は、次のようなコマンドが使えます。

```
rm -rf "/Applications/Igniform.app"
rm -rf "$HOME/Library/Application Support/Igniform"
```

B.7 トラブルの切り分け

現場から問い合わせを受けた際の、管理者向けの切り分けの目安です。利用者向けの対処は第 6 章「困ったとき」にまとめています。

起動しない	Mac 再起動 → アプリを一度終了して開き

	直す (第 6 章 §6.1)。改善しなければ動作環境 (付録 A) を確認
起動時に警告 (Gatekeeper)	Finder で右クリック → 「開く」 (第 3 章 §3.4 / 第 6 章 §6.5)。配布初期に出ることがある
ライセンスが登録できない	受け取ったライセンスが対象 Mac の PC ID 用か確認 (B.3)。エラー文言は第 4 章 §4.6
「この PC 用ではありません」	当該 Mac の PC ID と、発行されたライセンスの対応を確認・再発行 (B.3 / 第 4 章 §4.6)
動作が重い・落ちる	動作環境 (付録 A) を満たすか確認。大きすぎる STL を避ける (付録 A §A.5)
初期化後に登録をやり直したい	~/Library/Application Support/Igniform のライセンス関連ファイルを削除して再起動 (B.5)

解決しない場合は、サポート窓口 (support@fabriai.co.jp、平日 9:00～18:00) へ、対象 Mac の PC ID・画面のお知らせの文言・画面の写真を添えてご連絡ください。

付録 C 用語集

このマニュアルに出てくる言葉のうち、分かりにくいものを、やさしい言葉でまとめました。本文を読んでいて言葉の意味が気になったときに、ここをご覧ください。

治具（じぐ）

部品を決まった位置でしっかり押さえたり、置き場所を決めたりするための道具です。Igniform は、この治具の形を画面の上で作るためのソフトです。

STL（エスティーエル）

3D プリンタで使う、立体の形のデータです。Igniform で作った治具の形は、この STL という種類のデータとして書き出し、3D プリンタに渡して印刷します。

インストーラ

ソフトをパソコンに入れるための、入れ物にあたるファイルです。このファイル（例：Igniform-1.0.2-mac-universal.dmg）を開くと、導入が始まります。

インストール

インストーラを使って、ソフトをパソコンに入れ、使える状態にする作業のことです。くわしい手順は第 3 章でご説明しています。

ライセンス

Igniform を使うための、許可証にあたるものです。1 つのライセンスで、1 台のパソコンでお使いいただけます。ライセンスは、次の「ライセンスファイル」または「ライセンスキー」という形でお渡しします。

ライセンスファイル

ライセンスの内容が入った、1 つのファイルです。FabriAI（提供元）からお渡しします。登録のときは、このファイルを Igniform の画面に置く（ドラッグ&ドロップする）だけで済みます。

ライセンスキー

ライセンスを表す、文字と数字の並び（文字列）です。ライセンスファイルの代わりに、

このキーを画面に貼り付けて登録することもできます。 ファイルとキーは、どちらも同じライセンスを表す、受け取り方の違いとお考えください。

バインド

ライセンスを、登録したパソコン専用にする仕組みのことです。 一度登録すると、そのライセンスはそのパソコンと結びつきます。 そのため、ライセンスをコピーしても、ほかのパソコンでは使えません。 パソコンを買い替えたときの手続きは、第 7 章でご説明しています。

有効期限

ライセンスを使える期間のことです。 Igniform のライセンスは 1 年ごとの更新が必要で、期限が近づくと画面でお知らせします。 更新のしかたは第 7 章でご説明しています。